

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ①	2	6	10	8

◇科目の目標

コミュニケーションを図ろうとする態度を育てると共に、英語の基礎的な能力を養う。

◇科目の概要

英語の基本的な文法事項を学びながら、英文の持つ面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4領域をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

音読練習、語彙力、ポイント英文の解釈に力を入れながら、継続的に学習する。

使用教科書 東京書籍 All Aboard! English Communication II

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/23,24	1	Lesson 1 Fantastic Festival	pp. 9 ~ 14
2	4/30,5/1	1	Lesson 1 Fantastic Festival	pp. 9 ~ 14
3	5/7,5/8	2	Lesson 2 Dancing with Freedom	pp. 25 ~ 34
4	5/14,5/15	3	Lesson 3 The Spirit of the Forest	pp. 25 ~ 34
5	5/28,5/29	3	Lesson 3 The Spirit of the Forest	pp. 25 ~ 34
6	6/25,6/26	4	Lesson 4 Living with Robots	pp. 35 ~ 44
7	7/2,7/3	4	Lesson 4 Living with Robots	pp. 35 ~ 44
8	7/9,7/10	5	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	pp. 45 ~ 53
9	7/16,7/17	6	Lesson 6 A Microcosm in the Sea	pp. 54 ~ 72
10	7/23,7/24	6	Lesson 6 A Microcosm in the Sea	pp. 54 ~ 72

◇テスト範囲

中間テスト	期末テスト
レポート No. 1 ~ No. 3 教科書 Lesson 1 ~ Lesson 3	レポート No. 4 ~ No. 6 教科書 Lesson 4 ~ Lesson 6

◇成績評価の方法

成績評価については、レポート、出席、テストを総合的に評価する。

令和6年度以降（英語コミュニケーションⅡ）については、観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ②	2	6	10	8

◇科目の目標

コミュニケーションを図ろうとする態度を育てると共に、英語の基礎的な能力を養う。

◇科目の概要

英語の基本的な文法事項を学びながら、英文や読み物の持つ面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4領域をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

音読練習、語彙力、ポイント英文の解釈に力を入れながら、継続的に学習する。

使用教科書 東京書籍 All Aboard! Communication English II

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授業内容	教科書 ページ
1	10/8,10/9	1	Lesson 7 Happiness through Hula	pp. 73～82
2	10/15,10/16	1	Lesson 7 Happiness through Hula	pp. 73～82
3	10/22,10/23	2	Lesson 8 The Magic of the Cotswolds	pp. 83～92
4	10/29,10/30	3	Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate	pp. 93～102
5	11/5,11/6	3	Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate	pp. 93～102
6	12/3,12/4	4	Lesson 10① Designing for Peace	pp. 103～111
7	12/10,12/11	4	Lesson 10① Designing for Peace	pp. 103～111
8	12/17,12/18	5	Lesson 10② Designing for Peace	pp. 103～111
9	1/7,1/8	6	Reading1 Mujina	pp. 54～59
10	1/14,1/15	6	Reading1 Mujina	pp. 54～59

◇テスト範囲

中間テスト	期末テスト
レポート No. 1 ～ No. 3 教科書 Lesson 7 ～ Lesson 9	レポート No. 4 ～ No. 6 教科書 Lesson 10 ～ Reading1 Mujina

◇成績評価の方法

評価については、レポート、出席、テストから総合的に評価します。

令和6年度（英語コミュニケーションⅡ）からは、観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	英語コミュニケーションⅠ	通年3単位	9	14	12

◇科目の目標

情報や考えなどを理解し、適切に伝える基礎的な能力を養う。また積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

◇科目の概要

生活や時代に合った題材を多く取り上げ、英語圏の文化に触れ、英語そのものの面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

音読練習、語彙力、ポイント英文の解釈に力を入れながら、継続的に学習する。

使用教科書 東京書籍 All Aboard! English Communication I

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	内 容	教科書
1	4/23,24	1	Lesson 1 Breakfast around the World	pp. 20-23
2	5/7,8	2	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	pp. 24-30
3	5/14,15	3	Lesson 3 A Train Driver in Sankiku	pp. 31-39
4	5/28,29	4	Lesson 4 A Miracle Mirror	pp. 31-39
5	7/2,3	4	Lesson 4 A Miracle Mirror	pp. 31-39
6	7/9,10	5	Lesson 5 Learning from the sea	pp. 45-52
7	7/16,17	5	Lesson 5 Learning from the sea	pp. 45-52
8	10/8,9	6	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	pp. 59-64
9	10/15,16	7	Lesson 7 A diary of Hope	pp. 65-70
10	10/29,30	7	Lesson 7 A diary of Hope	pp. 65-70
11	11/5,6	8	Lesson 8 A Door to a New Life	pp. 71-80
12	12/3,4	8	Lesson 8 A Door to a New Life	pp. 71-80
13	12/17,18	9	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	pp. 81-88
14	1/7,8	9	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	pp. 81-88

◇テスト範囲

前期期末	レポート No. 1~5 教科書 L. 1 ~5	後期期末	レポート No. 6~No. 9 教科書 L. 6~9
------	-----------------------------	------	--------------------------------

◇成績評価の方法

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は9通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	英語基礎	前期2単位	6	10	8

◇科目の目標

読み物教材を通して、英語への興味・関心を引き出すと共に、英語の基礎的な能力を養う。

◇科目の概要

英語の基本的な文法事項を学びながら、英文の持つ面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4領域をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

テキストや補助教材学習書を使いながら、英語に慣れ、できるだけ英語を運用していく学習を心がける。

使用教科書 数研出版 Fun Reader①

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/23,24	1	Lesson 1 What am I?	pp. 2-3
2	4/30,5/1	1	Lesson 1 What am I?	pp. 2-3
3	5/7,5/8	2	Lesson 2 Dear Me (in 10 years)	pp. 6-7
4	5/14,5/15	3	Lesson 3 The Centipede and the snail	pp. 16-17
5	5/28,5/29	3	Lesson 3 The Centipede and the snail	pp. 16-17
6	6/25,6/26	4	Lesson 4 Rhyming Game	pp. 20-21
7	7/2,7/3	5	Lesson 5 A Day Trip to Nara	pp. 22-23
8	7/9,7/10	5	Lesson 5 A Day Trip to Nara	pp. 22-23
9	7/16,7/17	6	Lesson 6 The History of Sneakers	pp. 30-31
10	7/23,7/24	6	Lesson 6 The History of Sneakers	pp. 30-31

◇テスト範囲

中間テスト	期末テスト
レポート No.1 ~ No.3	レポート No.4 ~ No.6
テキスト Lesson 1 ~ Lesson 3	テキスト Lesson 4 ~ Lesson 6

◇成績評価の方法

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	英語基礎	後期2単位	6	10	8

◇科目の目標

読み物教材を通して、英語への興味・関心を引き出すと共に、英語の基礎的な能力を養う。

◇科目の概要

英語の基本的な文法事項を学びながら、英文の持つ面白さを味わう。

◇学習の進め方

「聴く」「読む」「話す」「書く」の4領域をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

声に出す、書き取りをするなどし、継続的に学習する。

使用教科書 数研出版 Fun Reader①

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10/8,10/9	1	What am I?	pp. 1-2
2	10/15,10/16	1	What am I?	pp. 1-2
3	10/22,10/23	2	Dear Me(in 10 years)	pp. 6-7
4	10/29,10/30	3	The Centipede and the Snail①	pp. 16-17
5	11/5,11/6	3	The Centipede and the Snail①	pp. 16-17
6	12/3,12/4	4	Rhyming Game	pp. 20-21
7	12/10,12/11	5	The Centipede and the Snail②	pp. 26-27
8	12/17,12/18	5	The Centipede and the Snail②	pp. 26-27
9	1/7,1/8	6	The History of Sneakers	pp. 30-31
10	1/14,1/15	6	The History of Sneakers	pp. 30-31

◇テスト範囲

中間テスト	期末テスト
レポート No. 1 ~ No. 3 テキスト Lesson 1 ~ Lesson 3	レポート No. 4 ~ No. 6 テキスト Lesson 4 ~ Lesson 6

◇成績評価の方法

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく（必要面接時数クリアー）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアーできなかったものはC（不認定）とします。テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価する。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
外国語	応用英語	通年2単位	6	10	8

◇科目の目標

英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。

◇科目の概要

「英文法」と「長文読解」を中心に学習し、大学入試レベルの英語力をつけることを目指す。

◇学習の進め方

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランスよく学習できるように配慮する。

◇履修にあたっての留意点

使用教科書、文法書などを活用しながら学習することが大切である。わからないところはそのままにせず、質問してください。

使用教科書 数研出版 LINK UP 英語総合問題集 ORANGE 版

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポ番号	内 容	教科書
1	4/23,24	1	Lesson 1 5文型 「オルゴール職人、リチャード・ガード」	P. 2, 3
2	5/7,8	1	Lesson 1 5文型 「オルゴール職人、リチャード・ガード」	P. 2, 3
3	5/28,29	2	Lesson 2 時制「リンカーンの生涯」 Lesson 3 完了形「ゴッホの絵の謎」	P. 4, 5 P. 6, 7
4	6/25,26	2	Lesson 2 時制「リンカーンの生涯」 Lesson 3 完了形「ゴッホの絵の謎」	P. 4, 5 P. 6, 7
5	7/16,17	3	Lesson 4 助動詞 「ドイツ人の責任感が支える鉄道システム」	P. 8, 9
6	10/8,9	4	Lesson 5 受動態「迷信の根拠」 Lesson 6 不定詞「第2言語を学ぶ利点」	P. 10, 11 P. 14, 15
7	10/22,23	5	Lesson 7 不定詞「真水の確保」 Lesson 8 動名詞「スーパーマーケットの戦略」	P. 16, 17 P. 18, 19
8	11/5,6	5	Lesson 7 不定詞「真水の確保」 Lesson 8 動名詞「スーパーマーケットの戦略」	P. 16, 17 P. 18, 19
9	12/3,4	6	Lesson 9 分詞「英語への日本語借用」 Lesson 10 比較「ピカソの人生」	P. 20, 21 P. 24, 25
10	1/7,9	6	Lesson 9 分詞「英語への日本語借用」 Lesson 10 比較「ピカソの人生」	P. 20, 21 P. 24, 25

◇テスト範囲

前期期末	レポート No. 1~3 教科書 L. 1~4	後期期末	レポート No. 4~6 教科書 L. 5~10
------	----------------------------	------	-----------------------------

◇成績評価の方法

観点別評価の「知識・技能」は主としてテストによる学習の定着度から評価します。よく学習しているものはA、合格の基準を超えたものはB、不合格のものはC（不認定）とします。「思考・判断・表現」は6通のレポートの取り組みを総合して評価します。レポートの表現課題まですべてをしっかりと取り組んだものはA、合格基準を超えたものはB、規定の枚数に到達しなかったものは不合格のC（不認定）とします。「主体的に学習に取り組む態度」はスクーリングの出席状況と学習態度を合わせて評価します。

出席状況がよく（必要面接時数クリア）積極的に学習に取り組んだものはA、必面数をクリアできなかったものはC（不認定）とします。 テスト・レポートを中心にして、スクーリング時の学習状況等を考慮し、総合的に評価する。